

指定番号 4 ^{たけいりよかん} 武井旅館 ^{しゅおく} (主屋)

所在地	戸隠宝光社
建築年代	延享2年(1745)
建築概要	木造平屋建、寄棟造、平入、茅葺
特徴等	<p>武井旅館は、戸隠神社の宿坊の一つで、宝光社社殿に至る参道(大門通り)沿いに位置する。参道に面してまず門が構えられ、手入れの行き届いた広い前庭の奥に、主屋をはじめとした建築物が建つ。</p> <p>宝光社では、昭和20年(1945)に大火があり、このとき、参道から東側に位置する宿坊や民家はその多くが焼失したが、参道の西側に位置する武井旅館は、この大火を免れた宿坊の一つである。</p> <p>主屋は、延享2年(1745)に建てられた旧客殿部分にあたり、現在も茅葺のまま残されている姿は、江戸時代の宝光社の景観を知る上で貴重な宿坊である。</p>
備考	



武井旅館 案内図 S=1:5,000